

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
外書輪講 (Reading English Technical Papers)	担当教員	岡松道雄(Okamatsu, Michio)、毛利洋子(Mouri, Yoko)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel. 42-9122)	
	E-Mail	okamatsu@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位 [講義Ⅱ] / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (50分) + 自学自習 (100分)] × 18回		
[本科目の目標] 土木工学・都市環境デザイン工学に関する技術英文の英語表現の特徴を理解し、技術英文の読解力及び日本語への翻訳能力を習得する。			
[本科目の位置付け] 土木工学・都市環境デザインに関する専門用語の英語表記を学ぶと同時に、基本的英文法の再確認と長文解釈力を養うことによって外書文献を読みこなす素地をつくる。将来の研究活動や国際的な実務活動に役立つよう位置付ける。			
[学習上の留意点] 土木工学・都市デザイン工学は多様な専門分野に分かれるので、都市デザインの歴史的 대표事例を取り上げ、各学生の専攻する専門分野からの視点をベースに、都市デザインを総合的に理解するように務める。5年間の学習による知識を統合して英文の解釈にあたることで、技術面だけでなく人間の生活空間としての理解を深める。事前にテキストの調べ、予習を十分に行い、字面だけの直訳だけでなく文章の意味について考察する必要がある。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 都市デザインと知覚・感覚	2	都市デザインにおける空間知覚用語について説明できる。	教科書p13およびp19について和訳しておくこと。
2. ギリシャ都市の成長過程	2	ギリシャのアゴラの成長過程について、幾何学的な用語を用いて説明できる。	教科書p82およびp83について和訳しておくこと。
3. 古代ローマのデザイン秩序	3	古代ローマの都市形態とバロックローマの都市形態を構造用語を用いて説明できる。	教科書p86およびp87について和訳しておくこと。
――後期中間試験――	1	授業項目1～3について達成度を確認する。	
4. ヴェニス の 成 り 立 ち	2	ヴェニスの都市空間の特徴について説明できる。	教科書p100～105について和訳しておくこと。
5. ルネッサンス・バロックの都市デザイン戦略	2	ローマの都市デザイン戦略について説明できる。	教科書p131について和訳しておくこと。
6. パリの都市展開 都市構造のデザイン	2	パリの都市構造について説明できる。	教科書p187～193について和訳しておくこと。
7. ワシントンD.C. 連邦政府の威厳	2	アメリカ植民地からワシントンD.C.の成り立ちまでについて説明できる。	教科書p219～225について和訳しておくこと。
――後期期末試験――	1	授業項目4～7について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	1	各試験において間違った部分を理解できる。	

